

# 虹の架け橋ニュース

2014/4/13 No. 70 発行：みやぎ県南医療生協  
〒989-1607  
宮城県柴田郡柴田町船岡新栄4-4-1  
TEL/FAX0224-57-2310 (担当 児玉芳江)

4月12日(土)ナガワ仮設住宅集会所で、「医療生協の健康サロン」と題して開催しました。12名の仮設のみなさんが参加し、県南のディサービスの星施設長の健康体操、ボランティアの渡辺さんの脳トレや歌で楽しく過ごしました。お茶タイムでは、お花見だんごを美味しくいただき、フードバンクから届いたお菓子をお土産に渡し終了しました。

今回から、個人別の健康カルテを用意し、毎回健康チェックの記録がわかるようにしました。



脳トレに真剣です (4/12 ナガワ仮設)

医療生協だからできる「健康づくり」で支援活動を継続します。

「仮設住宅の行政連絡員の会議で、宮城県看護協会の健康相談会が2か月に1回になると報告された。それではダメだ。みんなの健康がますます心配だ。医療生協の健康チェックや体操が必要だ。毎月来てやってほしい。部屋から出てこない人もいる。その人の部屋に行き、健康チェックをしたり、話し相手になってほしい。」4月6日、ナガワ仮設住宅の支援活動の相談に伺った時、岩佐区長さんが力強く話されました。

震災から4年が過ぎ、仮設で暮らす人たちの健康不安を少しでも和らげるために「健康チェック、健康体操、脳トレ」など医療生協だからできる「健康づくり」を継続していきます。そのために、専門職の派遣を近畿ブロックの医療生協にも働きかけていきたいと思えます。ご協力よろしくお願ひします。



4/13 柴田町船岡城址公園の桜並木は満開になりました。

震災直後に泥かきなどの支援に入った山元町坂元地区では、2012年1月から毎月「老人憩いの家」で医療生協主催の「茶話会」を開催しています。今回(4/12)の支援では、初めて参加された方2名、お孫さんを連れてきた方など11名の方が参加しました。脳トレやゲームの合間に、4月20日の山元町長選挙の話題が出て、町づくりの話で盛り上がりました。住民の声をしっかり受け止めて、復興へのまちづくりを進めてくれる町政になってほしいです。

次回の支援予定：5/10(土)ナガワ仮設、坂元老人いこいの家、牛橋区民会館、花釜吉野様宅  
2014年度は、第2土曜日に支援活動をしていきます。